

愛知県(県域)

1 産地の概要

<対象品目> デントコーン

<産地の現状・課題>

愛知県の酪農経営は、近年、飼料の価格高騰や不安定な供給のため経営が圧迫されている。そのため、地域内での粗飼料生産を求める声が高まり、県内においてもデントコーンの栽培・供給を行い始めた。

本県のデントコーンは耕畜連携により生産されており、生産コスト低減、省力化が求められている。その中で、環境に配慮しつつ生産性の高いデントコーン栽培を行う必要がでてきている。そこで環境に配慮した生産性の高い省力的なデントコーン栽培体系の確立に向けた取組を進めるため、家畜ふん堆肥利用に伴う化学肥料の低減と、長期緩効性肥料による追肥作業を省力した栽培体系を実証する。

2 検討体制

<愛知県組織と関係機関の役割>

- 農業経営課(事務局)
- 農業革新支援センター(技術指導、検討会の開催、実証ほの調査、栽培マニュアルと産地戦略の作成)
- 農業普及指導センター(農業者との調整、実証ほの進行管理・調査、技術指導、検討会の参加、先進地調査)
- 農業総合試験場畜産・作物研究部(技術指導、検討会の参加、先進地調査)
- 農業者(耕種)(実証ほの栽培管理、技術の検証、データ収集)
- 愛知県酪農協・酪農家(堆肥供給)
- JAあいち経済連(肥料設計協力)

3 グリーンな栽培体系

<環境にやさしい栽培技術>

取組項目	作業段階	新たに取り入れる技術
化学肥料の使用量低減	施肥・土づくり	<取り入れる技術> ・プラスチックを使用しない緩効性肥料の活用 ・堆肥の肥料効果を加味した施肥量の削減
		<見込まれる効果> ・プラスチックによる環境負荷の発生なし ・化学肥料のうちリン酸、カリの削減

<省力化に資する技術>

作業段階	新たに取り入れる技術
追肥	<取り入れる技術> 緩効性肥料の活用による追肥作業の削減
	<見込まれる効果> 追肥にかかる作業時間が削減

4 活動内容(予定)

<活動内容>

- 検討会の開催(実証の計画・成績検討等)
- 環境に配慮したデントコーン栽培実証ほの設置、調査
- 栽培マニュアル、産地戦略の策定、配布
- デントコーン水田利用事例調査